

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

学校名 唐津市立名護屋小学校

1 前年度 評価結果の概要
・「賢さ」「優しさ」「逞しさ」を具現化しながら、「ふるさとに誇りをもち、夢に向かってチャレンジする児童の育成」に努めてきた。自分のよさを知り、友達と協力しながらがんばろうとする子供の姿をよく見かけられるようになった。また、保護者や地域の協力によって、「ふるさと名護屋」の理解が着実に高まり、児童もふるさとに愛と誇りをもつ子が多数を占めるまでになった。さらに、学校周辺にある「名護屋のたからもの」をさらに発見、体験して、ふるさとへの愛着と誇りの気持ちを高めさせていきたい。
・少数のよさを生かし、校内研究を深め、子どもたちの学力向上に努めていきたい。

2 学校教育目標
育てよう！未来を広げる「賢さ」「優しさ」「逞しさ」 — 発見！体験！！ふるさと名護屋のたからもの —

3 本年度の重点目標
■賢 さ～しっかりと考え、自ら進んで学ぼうとする子どもを育てる。
■優しさ～思いやりの心をもち、仲良く協力し合う子どもを育てる。
■逞しさ～チャレンジ精神をもち、最後まであきらめない子どもを育てる。

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目
重点取組 評価項目 取組内容 成果指標(数値目標) 具体的取組 達成度(評価) 実施結果 学校関係者評価 評価 意見や提言 主な担当者
●学力の向上
●心の教育
●健康・体づくり
●業務改善・教職員の働き方改革の推進
●特別支援教育の充実

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目
重点取組 評価項目 重点取組内容 成果指標(数値目標) 具体的取組 達成度(評価) 実施結果 学校関係者評価 評価 意見や提言 主な担当者
○地域に開かれた学校づくりの推進

5 総合評価・次年度への展望
・保護者や地域の方々等の多大な協力を得ることができ、ふるさと名護屋についての学習を充実することができた。特に多くの体験活動や大阪・関西万博でのオンライン発表(5年生)を始め外部に向けた取組の発表などは子供たちにとって貴重な体験となった。子供たちの感想の中にも、ふるさと名護屋のよさ、すばらしさを感じる事ができたという意見が多く見られた。
・校内研修では算数科を中心に取り組んだ。各学年の研究授業、外部講師による指導助言を通して研修を深めることができ、次年度への課題を共有することができた。少数ならではのよさを生かし、さらなる学力向上に努めていきたい。